LAN：「LAN」とは、「Local Area Network（ローカル エリア ネットワーク）」の略称。これは、自宅やオフィスなどの限定された範囲内に構築されたネットワークのこと

有線LAN：コンピューターやネットワーク機器にケーブルをつないで構築した局所的なネットワークのことです。

無線LAN：LANケーブルを必要としないで、ルーターと端末を電波で接続してインターネットの利用が可能とする。

WAN：（Wide Area Network）とは、地理的に離れた地点間を結ぶ通信ネットワーク。建物内や敷地（キャンパス）内を結ぶLAN（Local Area Network）と対比される用語

インターネット：共通の通信仕様を用いて全世界の膨大な数のコンピューターや通信機器を相互に繋いだ、巨大なコンピューターネットワーク。

ノード：網状構造の構成要素などをこのように呼ぶ。

リンク：ネットワークにおいて、ノード間を結びつける線や経路のこと

トポロジ：複数の装置や機器を結ぶ配線や接続形態の類型をトポロジーという。

バス型トポロジ：すべての端末が一つの共通の伝送路に接続し、これを通じて相互に通信を行う方式

スター型トポロジ：中心となる通信機器を介して端末を相互に接続する方式。

メッシュ型トポロジ：参加する各ノードが自分以外のすべてのノードと接続する形態。

帯域：通信などに用いる一番低い周波数と一番高い周波数の間の、周波数の範囲のこと

Bps：通信回線などのデータ転送速度の単位で、1秒間に伝送できるデータのビット数のこと

輻輳：通信回線やネットワークに想定を超える接続要求や伝送要求が行われ、通信・通話できなくなる状態を指す。

コリジョン：同じ伝送路を共有する複数の装置が同時に信号を発信して混信してしまう現象

プロトコル：複数の主体が滞りなく信号やデータ、情報を相互に伝送できるように定められた約束事や手順

OSI参照モデル：、コンピューターネットワークで様々な種類のデータ通信を行うために機器やソフトウェア、プロトコルなどが持つべき機能や仕様を複数の階層に分割・整理したモデルの一つ。

ヘッダ：、データや文書の本体の先頭に付け加えられる、そのデータや文書自体についての情報を記述した部分のこと。

カプセル化：オブジェクト指向プログラミングにおいて、互いに関連するデータの集合とそれらに対する操作をオブジェクトとして一つの単位にまとめ、外部に対して必要な情報や手続きのみを提供すること。

非カプセル化：あるプロトコルにおけるデータのパケットなどからヘッダなどの制御情報を取り除き、伝送データ本体を取り出すこと

PDU：薄型のコンピュータなどを積み重ねて設置することができるサーバラックに備え付ける電源タップ。データセンターなどで用いられる。

MTU：通信機器などが一度に送信できる最大のデータ量。

フレーム：データの送受信単位をフレームと呼ぶ

パケット：、通信回線やネットワークを流れる情報のうち、データをある長さごとに区切り、送信元や宛先などの制御情報を付加した小さなまとまりのこと。

セグメント：イーサネット（Ethernet）などのネットワーク技術で、物理的に同じ信号が届く範囲の機器のグループをネットワークセグメント。

TCP／IPモデル：、インターネットなどで標準的に用いられる通信プロトコルで、TCP（Transmission Control Protocol）とIP（Internet Protocol）を組み合わせたもの。

ドメイン：インターネットなどのTCP/IPネットワーク上で機器やネットワークを識別するドメイン名（domain name）を指す

ポート：機器やソフトウェアが外部の別の主体と接続・通信するための末端部分のこと

ビット：情報量の最小単位で、二つの選択肢から一つを特定する情報の量。

ツイストペアケーブル：通信用の金属（メタル）ケーブルの種類の一つで、細長い金属製の電線（芯線/信号線）を2本1組として螺旋状に撚り合わせ、このペアを何対か集めてゴムなどの被覆材で覆って一本のケーブルとしたもの。

UTP：シールド処理が施されていない、ペアの撚りケーブル」を指す。

STP：物理的な配線に円環状の経路を含むネットワークで、データが無限に循環し続けることを避けるための制御方式を定めたプロトコルの一つ

カテゴリー：LANケーブルなどに使われるツイストペアケーブルの標準規格では、ケーブルの電気特性グレードを「カテゴリ」として定義している。

コネクタ：電子部品やケーブルなどを他の部品に簡単に着脱できるように設けられた部品

ストレートケーブル：内部に複数の芯線が通っている通信ケーブルのうち、各芯線が両端で同じ位置のピンに結線されているもの

クロスケーブル：内部に複数の芯線（信号線）が通っている通信ケーブルのうち、一部の芯線が両端で別の位置のピンに結線されているもの

光ファイバケーブル: 光ファイバケーブルは、情報を光の信号として送受信するための通信ケーブルです。光ファイバケーブルは、光ファイバと呼ばれる非常に細いガラス繊維でできており、情報を光のパルスとして伝送します。光ファイバケーブルは、電磁干渉やデータの盗聴などのリスクを軽減するために広く使用されています。

ハブ: ハブは、コンピューターネットワークで使用されるデバイスで、複数のコンピューターを接続し、データを転送する役割を果たします。ハブは、データを受信すると、接続されているすべてのポートにデータを転送します。しかし、ハブは受信したデータを特定のポートにのみ送信することはできません。

半二重通信: 半二重通信は、通信プロトコルの一つであり、データの送信と受信が同じチャンネルを共有する方式です。つまり、データを送信している間は同時にデータを受信することができず、送信と受信の間に切り替えが行われます。これにより、データの衝突を回避するため、データの送受信速度は低下しますが、半二重通信は比較的シンプルなネットワーク構成で利用されます。